

薩摩義士へ深い敬意と感謝を



5月25日(木)に鹿児島市の平田公園で、鹿児島県薩摩義士顕彰会主催の薩摩義士頌徳慰霊祭が開催され、本町からも関係者のほか高田中学校と東部中学校の代表生徒が参列しました。頌徳慰霊祭は4年振りに通常どおり開催され、薩摩義士に対し、感謝の気持ちと冥福を祈りました。

式典では、岐阜県薩摩義士顕彰協議会の松永清彦会長が「私たち岐阜県民は、その御恩を深く胸に刻み、ご遺徳に対する深い敬意と感謝の念を末永く伝えていきます」と顕彰の言葉を述べました。

薩摩義士が結んだ 鹿児島市立甲東中学校との絆



5月23日(火)に、高田中学校と東部中学校の生徒代表が鹿児島市立甲東中学校を訪問し、交流会を行いました。この交流会は、木曾三川治水事業で指揮を執った平田靱負の生誕地が甲東中学校区内であったことが縁で始まりました。昨年はオンライン開催でしたが、今年は対面での交流会となり、各学校が取り組んでいる活動や薩摩義士と学校の関わりを紹介しました。

高田中学校の栗田宗一郎生徒会長はあいさつの中で「薩摩義士が私たちの生活を助けてくれたことへの感謝を忘れず、周りの人へも伝えていきたいです」と薩摩義士への感謝の気持ちを伝えました。

チームワークが強さの秘訣



第38回全国選抜ゲートボール大会の県予選会(女子の部)において優勝し、6月3日(土)から和歌山県で開催される全国大会へ出場する「なでしこ岐阜」のメンバーである上野朝子選手、松岡恵子選手、川瀬百合子選手が5月23日(火)に川地憲元町長を訪問しました。

町長は「県予選での優勝おめでとうございます。全国大会で緊張するとは思いますが、チームワークを大切にし、いつもどおりのプレーをしてください。いい報告を期待しています」と激励しました。

選手たちは「全国大会への出場は貴重な経験でとても嬉しいです。萎縮せず、楽しんで参加し、チームワークを大切にプレーしたいです」と意気込みを話しました。

1町民1スポーツのまち・養老



5月28日(日)に、町総合体育館において(公財)町スポーツ連盟が主催となり、養老町スポーツ大会総合開会式が開催されました。本町では、昭和62年に「スポーツの町の宣言」を行い、1町民1スポーツのまち・養老を基本理念として、すべての町民がスポーツに親しむことで、心身ともに健康で、地域とのつながりを深めることができるよう、関係団体と協力して推進しています。

選手宣誓では、町モルック協会の縣芳位^{あがたよし}さんが出場選手を代表し、スポーツマンシップにのっとり、正々堂々と競技に臨むことを誓いました。